

おおた区議会だより

No.172

平成19年1月1日発行

第4回定例会号

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474(直通) ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



六郷神社での子ども流鏝馬(やぶさめ)

あけましておめでとうございませす

議長 水井 達興
副議長 高橋 博

有川 靖夫	野呂 恵子	永井 敬臣	荒木 秀樹	田中 健	山崎 勝広	渋谷 要	和田 正子	清水 菊美	松本 洋之	清波 貞子	高橋 博	田口 仁	塩野 目正樹	大森 昭彦	鈴木 章浩	小原 直美	近藤 忠夫
犬伏 秀一	金子 富夫	田中 一吉	内田 秀子	岸田 正	岸田 正	大竹 辰治	黒沼 良光	菅谷 郁恵	丸山 かよ	古山 昌子	飯田 茂	溝口 誠	湯本 良太郎	松原 茂登樹	安藤 充	海老澤 信吉	河津 章夫
	沼田 秀弘	高瀬 三徳	奈須 利江	都野 圭子	金子 悦子	藤原 幸雄	藤原 幸雄	金子 悦子	渡部 登志雄	富田 俊一	荒川 善夫		伊藤 和弘	岸田 哲治	松原 秀典	水井 達興	

第4回定例会開催される

大田区議会は、平成18年第4回定例会を11月29日から12月8日までの10日間の会期で開きました。

本会議第1日の区長のあいさつの後、5名の議員が会派を代表して質問を行い、第2日には11名の議員が一般質問を行いました。

この定例会には区長提出議案20件、報告1件が提出され、議員提出議案として条例案3件、意見書1件を提出しました。

平成18年度一般会計補正予算(第4次)をはじめ、大田区大森南四丁目工場アパート条例の制定などの区長提出議案については、審議の結果すべて原案どおり可決しました。

議員提出議案については、「JR不採用問題の早期解決を求める意見書」を全会一致で可決し、大田区障害福祉サービス食事の費用の助成に関する条例を賛成少数で否決し、そのほかは継続審査となりました。

今回皆様から提出された請願・陳情と以前に提出された請願・陳情は関係委員会で慎重に審査した結果、採択3件、不採択1件となり、そのほかは継続審査となりました。(8面に結果を掲載)

第4回定例会の内容

11月	29日	本会議(第1日)
12月	30日	本会議(第2日)
1日		常任委員会
4日		常任委員会
5日		議会運営委員会
6日		特別委員会
8日		本会議(第3日)

議員の寄付は罰則をもって禁止されています。議員に寄付を求めることも禁止されています。年賀状等(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。新年のごあいさつは、本紙上をもって代えさせていただきます。

代表質問

大田区発展のための区政を

自由民主党大田区議団・区民連合 松原 茂登樹

〈行政サービス総合評価〉

◎日経新聞の調査では前年の156位から11位になったが、個々の項目を見るとまだまだ十分な行政サービスとはいえないと考えるがどうか。

◎地域事情を踏まえ、的確に対応をしていかなければいけないという思いで、さらなる行政サービスの向上に努力する。

〈障害者自立支援法〉

◎1割の定率負担となった授産施設の利用料が払えずに辞めていく利用者に配慮が必要ではないか。

◎利用者が通い続けられる条件をつくり出していかなければいけないと考え、施設利用料の負担軽減を検討している。

◎親なき後の施設整備についての区の考えを伺う。

◎親の高齢化問題、親なき後の問題は現在の3か年計画で検討課題としている。次の3か年計画で何らかの方向で検討結果を出していかなければならないと考えている。

〈羽田空港と区の産業〉

◎空港再拡張による経済波及効果を区にもたらすための施策を伺う。

◎安全と騒音の問題を担保しながら、跡地開発が地域にどういった貢献をもたらす

大田区の未来のために

大田区議会公明党 富田 俊一

〈いじめ対策〉

◎いじめはどこでも起きるという意識で取り組むべき。

◎学校では問題を放置しないよう努力している。

◎子ども人権オンブズマン制度を提案する。

◎区としても検討する。

〈羽田空港再拡張事業〉

◎航空機の安全について、きちんと主張すべきである。

◎国の指導を徹底するよう要望する。

◎騒音問題の解決法は、離発着回数増加で左旋回の5便を吸収するよう航空局長に文書を提出した。

◎空港周辺の交通量増加をどう改善するのか。

◎国道357号線を早急に着工すべきと主張している。

◎跡地利用の構想実現のためどう取り組んできたのか。

◎跡地の利用計画の提出は区だけであり、53ヘクタールの区の家を国、都に強く働きかける。面積を減らすことには断固反対する。

〈教育の諸問題〉

◎科学的検証がない教育論

◎今こそ国の冷たい政治から区民の生活を守り自治体本来の役割を果たすべき。

◎効率的な行政運営に努めるのが区の責務である。

〈来年度予算と実施計画〉

◎介護保険制度改定で要支援・介護度1のベッドの取

議が横行している。

◎同様に感じている。できるだけ科学的根拠に基づいた政策立案を行う。

◎私立幼稚園の入園にも積極的にかかわり、公平性、透明性を確保してほしい。

◎入園情報を把握し、区民の問い合わせに対応する。

◎文部科学省が行った教員勤務実態調査の結果は、平均残業時間は2時間8分で、多忙な状況にある。

◎校庭の芝生化に取り組んでいただきたい。

◎有効性は認識しており、研究する。

〈予算要望〉

◎子ども医療費助成の拡大、障がい者の親亡き後施設整備、全小学校にスクールカウンセラー配置の考えは、ウンセラ配置の考えは、子ども医療費助成は先進的に取り組み、適切に対応できるように考える。親亡き後の施設は民間の力も導入し進められるように考える。スクールカウンセラーは前向きに検討する。

国の増税、負担増から区民を守る区政への転換を

日本共産党大田区議団 清水 菊美

◎今こそ国の冷たい政治から区民の生活を守り自治体本来の役割を果たすべき。

◎効率的な行政運営に努めるのが区の責務である。

〈来年度予算と実施計画〉

◎介護保険制度改定で要支援・介護度1のベッドの取

◎子ども医療費の無料化を

◎子ども医療費の無料化を

◎子ども医療費の無料化を

◎緊急に考えるべき大きな課題と認識している。

◎保育園待機児解消のため、急いで認可保育園の増設を

◎認可・認証保育園の増設に計画的に取り組んでいる。

◎23区内で最も高い保育料を値下げし、子育て支援を

◎財政事情から難しい。

◎国・都に少人数学級を求め健やかに育つ教育環境を

◎その考えはない。

〈雇用と中小企業支援〉

◎雇用と中小企業支援

◎大田区展示館の設置を

◎産業界プラザ内で実施中

◎商店街街灯の電気代、維持管理費の全額助成を

◎夜間防犯機能は負担済み

◎環境、アスベスト問題

◎自動車排ガス測定所の増設と緊急の交通量調査を

◎空港工事などの影響があり国・都に調査を求め

◎石綿製造工場跡地周辺住民や土木建設関係者の健診を区が実施せよ

◎区での健診は実施しない

◎防災問題について

◎区総合防災訓練を各行政センター単位に行ったが、北センターの「まちなか訓練」は良かった。また、大森消防署は訓練の様子を撮影したので、教材として利用しては

◎身を守り、近隣の人を見守ることが大切との発想で

◎実施した。ビデオは特別出張所に配付し参考にする

◎ともに貸し出しを行う

◎産業振興について

◎商店会が区商連に加入するためには、区商連自体に魅力が必要と考えるが

◎多くの商店会に加入していただき、支援が行き渡るようにしたい

親善訪問を行いました。

セーラム市親善訪問

〈派遣期間〉平成18年10月26日(木)～11月2日(木)
〈派遣先〉アメリカ合衆国(セーラム市、ボストン市、ニューヨーク市、サンフランシスコ市)
〈派遣議員〉永井敬臣 小原直美 松原秀典 高瀬三徳 鈴木章浩 安藤充 岸田哲治 伊藤和弘

北京市朝陽区親善訪問

〈派遣期間〉平成18年10月17日(火)～10月21日(土)
〈派遣先〉中華人民共和国(北京市朝陽区、北京市)
〈派遣議員〉河津章夫 海老澤信吉 大森昭彦 松原茂登樹 山崎勝広 岸田正 田中健 黒沼良光

新しい会派が結成されました。(12月15日)

会派名	自由民主党大田区議団 (略称：自民)					
所属議員	近藤小鈴木大塩	藤原直章昭野	忠美浩彦目正	河津海安松原湯	津老藤原良	章夫信充茂太郎

会派名	大田区民連合 (略称：区民)					
所属議員	永井敬臣	田中一吉	高瀬三徳	松原茂登樹	大森昭彦	海老澤信吉

※会派「自由民主党大田区議団・区民連合」は解散しました。

政 区

一般質問

自由民主党大田区議団・区民連合
近藤 忠夫

大田区議会公明党
田口 仁

議員・職員の倫理

議員の政治倫理を損なう例が相次ぐ中、議員として遵守すべき行動基準を定めている議会もある。議員は、法令順守はもとより、区民の信頼を損なう恐れのある行動について襟を正すことを道義的にも求められている。議員の倫理についての議論を提案する。また、職員については、中堅・ベテランの職員に対しての汚職防止を含めた倫理研修の取り組みを伺う。

職員員の倫理保持の基準を定め、文書により注意を促し、担当課長の打ち合わせを行っている。

総合学習の取り組みとして東工大の先生の話を書く機会をつくれぬか。

東工大の意向や要件を伺いながら可能性を探る。

子どもたちの将来と「ものづくり」のかかわりをどのようにとらえているか。

ものづくりにかかわる高校や大学に進学し、職業選択の際に区内企業に就職という選択肢もあると考える。

友好都市交流
◎来年の北京市朝陽区との友好10周年に区民訪問団の派遣や、現地での記念植樹などの構想はあるか。

◎何らかのかたちで記念になる事業を計画したい。

子育て支援

卒業生の3分の1が私立中学に進学しているがどう考えるか。

それぞれの家庭の判断であると考ええる。

大学入学時の一時金の貸し付けを子育て支援策とする考えに対する見解を伺う。

各自で対応することと考える。

住宅も子どもの数に応じた部屋数が必要。子育て支援策として住宅ローン金利を下げてはどうか。

住宅購入の金融政策、世帯人員に見合う居住水準は、国レベルの問題である。国の動向を見ながら区の施策を検討し、国の指針に基づき居住環境の向上を図る。

区民の健康
◎木の実健康にどのような効果があるのか。

脂質を多く含む、リノール酸などの不飽和脂肪酸は体に有益である。

「酔は健康によい」とPRしてはどうかか。



障害者施設利用者負担

地方分権を進める目的で、所得税から住民税へ税金の移し替えが行われ、また、所得税の定率減税が廃止されることによって、障害者福祉サービス利用料の定率負担に変化が出るのか。

前年の所得額と控除額に変化がなければ利用者負担に変化はないと理解している。

障害者施設のサービスに要する費用、食費、光熱水費を口座振替にしてはどうかか。

使用料の口座振替は費用対効果を含め検討する。

教育について
◎しつけや常識など家庭教育に対する取り組みを伺う。

親や地域に家庭教育の重要性を訴えていく。

柔道、剣道を授業や部活動にもっと活用できないか。

柔道や剣道を通じて礼法の指導も行っている。

児童生徒と信頼関係を築き、問題行動に対しては出席停止等の措置も検討する。

大田区議会民主党 都野 圭子

会場を分散した効果は。住民のふれあいが増えた。分散方式に変更した感想と反省を伺う。

参加者が少ない会場では、他の施設活用も検討する。

今後とも積極的な取り組みを期待するがいかがか。

ニーズに応え充実させる。

特別支援教育
◎発達障害者支援法が施行されたことで心身障害学級の教育はどう転換するのか。

心身障害学級の役割と成果は今後も継続維持する。

教員とは異なる立場で保護者と支援を考えてくれる専門家が必要ではないか。

教育センターやスクールカウンセラーが相談、助言を行う。

障害を持つ子どもたちが通う通級学級の効果を伺う。

大田区議会公明党 丸山 かよ

足とは考えていない。いろいろな観点に立ち今後とも良の施策展開が出来るように努力する。

工場アパート
◎大森南四丁目の入居募集について伺う。

平成19年1月に募集要項を公表し、2月から3月にかけて入居募集を行う。

入居期間は更新後5年で最長12年であるが、経過後の対策を伺う。

期間経過後はスムーズに退出が図られ、操業が行われるよう様々な支援をする。

工場アパートの需要の状況はどうか。

需要は高いと考えている。

生活習慣病健診
◎「子どもドック事業」の実施を提案する。

小児の生活習慣病は新しい概念と思われ、引き続き注目を。

日本共産党大田区議団 菅谷 郁恵

が保育を支えている。継続を求める。

今後とも必要と判断した施設には対応したい。

移行後の小規模作業所や1割負担の利用者に区独自の総合支援を求める。また、国・都に補助金を減額させないよう意見をあげよ。

支援策は現状では考えていないが、状況を見つつ判断する。国・都への意見は特に考えていない。

香川の浄化と悪臭対策
◎区として香川の浄化と悪臭対策のため、官・民・専門家で構成する対策協議会を設置し、意見を出してはどうか。

設置する予定はない。初期雨水の越流対策について引き続き都と協議していく。

自由民主党大田区議団・区民連合 安藤 充

大田区のまちづくり
◎タイ・バンコクに「テクノパーク」が完成した。区内企業が入居し、産業面の結びつきは強まるが、羽田空港再拡張に伴う、国際線距離制限をどう考えるか。

国が調整し、決定する事項であり、適切な時期に決定されるものと考えている。中小企業の方々が、距離制限について、どう感じているかは把握していない。

日本共産党大田区議団 黒沼 良光

れからも国・関係機関に主張していく。

空港再拡張完成まで、あと3年となった。跡地整備に着手する必要があると思うが、いつ頃に確定するのか。

空港周辺の交通対策として、国道357号線の整備着手時期を明確にしてもらうように働きかける。近日開催予定の国・都・区の協議で、跡地の範囲と面積、今後の進め方、考え方が示される予定となっている。

議会の応援も仰ぎ、望ましい跡地利用となるよう主張していく。

大田区議会新成 沼田 秀弘

注意書きをつけた。要介護で設けられるという障害者控除の説明を。福祉事務所長名での認定書が要件である。

確定申告前に区報でわかりやすい特集を組むべきだ。

区報2月1日号とリーフレット作成を検討している。

その他の質問
◎京急蒲田駅東西口駅前広場と京浜急行駅前再開発

平成19年 定例会年間予定

※以下は予定であり、実際とは異なる場合があります。

第1回定例会

2月22日(木)から
3月9日(金)まで
【請願・陳情の締め切り】
2月15日(木)

第3回定例会

9月13日(木)から
10月10日(水)まで
【請願・陳情の締め切り】
第1次分9月6日(木)
第2次分9月14日(金)

第2回定例会

6月7日(木)から
6月18日(月)まで
【請願・陳情の締め切り】
5月31日(木)

第4回定例会

11月28日(水)から
12月7日(金)まで
【請願・陳情の締め切り】
11月20日(火)

● 定例会で決まった議案 ●

○は全会一致の議案
 △は賛成者多数の議案(各会派の態度は表のとおり)

区長提出議案

▼平成18年度補正予算

▽一般会計(第4次)
 (39億7、413万3千円増額する。)

▼条例の制定

◎大田区大森南四丁目工場アパート条例
 (工場アパートを設置する。)

▼条例の一部改正

◎大田区奨学金貸付条例
 (学校教育法の改正による特別支援学校制度の創設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立児童遊園条例
 (秋中児童遊園を廃止する。)

◎大田区立学校設置条例

(区立館山養護学校の名称を区立館山ささなみ学校に変更する。)

◎大田区立学校の学校医、

大田区立図書館の指定管理者の指定

大田区障害福祉サービス食事の費用の助成に関する条例

東京都後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議

一般会計補正予算(第4次)

○賛成 ×反対

会派名	件名	○	△	×	○
自由民主党大田区議団・区民連合(17名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	×	○
大田区議会公明党(11名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	×	○
日本共産党大田区議団(8名)	一般会計補正予算(第4次)	×	×	○	×
大田区議会民主党(4名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○
ネット・無所属連合(3名)	一般会計補正予算(第4次)	○ 1 ×2	○	○	○ 1 ×2
大田区議会緑の党(1名)	一般会計補正予算(第4次)	○	×	○	×
大田の未来を展く会(1名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○
大田区議会新成(1名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○
無所属の会(1名)	一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○
改革110番(1名)	一般会計補正予算(第4次)	×	○	○	○
結果		可決	可決	否決	可決

給割合等を改定するほか、規定を整理する。)

◎職員の手当に関する条例
 (退職手当の算出方法の見直し等に伴い、規定を整備する。)

◎大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例(教育長の給料月額を改定するとともに、地域手当の額の算出に関する規定を整備する。)

◎大田区議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
 (議員の報酬月額を改定する。)

◎幼稚園教育職員の給与に関する条例
 (職員の給料月額、扶養手当の月額、地域手当の支給割合等を改定するほか、規定を整理する。)

◎田園調布せせらぎ公園整備用地
 (田園調布一丁目51番26、

面積5、789㎡、取得金額13億9、241万3、151円)

◎工事請負契約
 (仮称大森ふるさとの浜辺公園整備工事その3(砂浜及び釣磯造成等)

(契約金額2億7、615万円、契約の相手方、五洋・永光・三ツ木・池上建設工事共同企業体)

◎開校小学校外14校特別教室空調機械設備工事
 (同1億8、952万5千円、装芸・清香園建設工事共同企業体)

◎大森東中学校外7校特別教室空調機械設備工事
 (同1億7、062万5千円、太陽・日化建設工事共同企業体)

◎協賛
 △東京都後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議

◎土地の取得
 (後期高齢者医療広域連合の設立の協議について可決した。)

◎指定管理者の指定

かつこ内は指定管理者名

▽大田区立図書館
 ・大森南(テルウェル東日本株式会社)

・大森東(株式会社有隣堂)
 ・大森西(特定非営利活動法人大田教育支援の会)

・馬込(共同事業体丸善グループ)
 ・池上(共同事業体JCS/NBMグループ)

・久が原(特定非営利活動法人大田教育支援の会)
 ・洗足池(共同事業体丸善グループ)

・浜竹(特定非営利活動法人大田教育支援の会)
 ・羽田(共同事業体JCS/NBMグループ)

・六郷(株式会社ブックチェーン)
 ・下丸子(株式会社ヴィアックス)

・多摩川(株式会社ブックチェーン)
 ・蒲田(共同事業体JCS/NBMグループ)

・蒲田駅前(株式会社図書館流通センター)

報告

意見書

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

報告

区議提出議案

区議提出議案

区議提出議案

● 請願・陳情の結果 ●

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので結果の出たものを掲載しています。

かつこ内(継続分は継続分と表記)は審査結果です。

▼総務財政委員会

・JR不採用問題の早期解決を求める意見書を国会に提出することを求める陳情(採択)

・大田区議会の区政調査費は1人当たり月に23万円。都内でも屈指に多い。都内他区では、領収書を公文書開示となるが、大田区だけは議会事務局には無いといふ。今、目黒区で問題化している領収書問題の解決を早急にして下

さいとお願する陳情(継続)

生活産業委員会

健康福祉委員会

都市整備委員会

交通問題調査特別委員会

「東京23区清掃一部事務組合の合併事業への支出について」の陳情(継続分・不採択)

糞谷駅周辺と環状8号線の糞谷駅交差点付近の駐輪自転車の整理と駐輪場増設に関する陳情(継続)

糞谷駅周辺の自転車の整備に関する陳情(継続)

糞谷駅周辺の駐輪場に関する陳情(継続)

患者さんにゆきとどいた医療・看護を提供するために、「第六次看護職員需給見直し」と「看護師確保法・基本指針」の見直しを求める陳情(継続)

「指定喫煙場所」の設置に関する陳情(継続分・採択)

※そのほかは各委員会で継続審査中です。

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

旧国鉄が分割民営化され、JR各社が発足してから、20年近くが経過いたしました。

しかし、移行時点で発生した職員の不採用問題は、いまだに解決しておらず、不採用のままとなっている当時の職員も、既に高齢となっています。

この間、国際労働機関(ILO)理事会が日本政府に対し、「政治的・人道的見地に立った話し合いを、すべての関係当事者間で推進するように」と6度の勧告を、さらに、本年11月には、「ILOによる援助の受け入れを真剣に検討するように」と7度目の勧告を出しています。

このように、長引く不安定な状態は、当事者だけでなく、その家族にも深刻な影響を与えており、人道的見地に立って速やかに問題解決を図ることが重要であると考えます。

よって、大田区議会は、国会及び政府に対し、関係者に積極的に働きかけるなど、JR不採用問題の早期解決に向けて一層努力するよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成18年12月8日

衆議院議長
 参議院議長
 内閣総理大臣
 総務大臣
 厚生労働大臣
 国土交通大臣

あて

大田区議会議長名